

地域医療構想の推進について

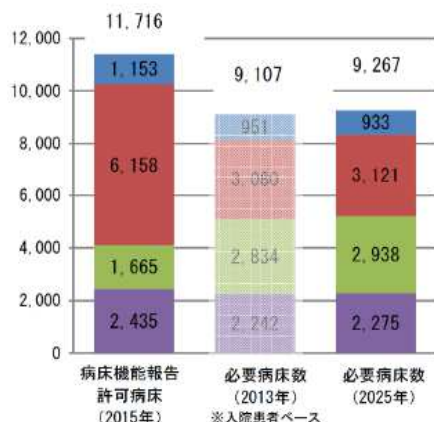
山形県地域医療構想の概要について

- 団塊の世代が75才以上の後期高齢者となり、医療や介護に大きなニーズが見込まれる2025年を見据えて、平成26年6月に「医療介護総合確保推進法」が成立。
- 都道府県は、将来の医療需要と必要病床数を示すとともに、目指すべき医療提供体制を実現するための施策を内容とする「地域医療構想」を策定することとなった。
- 構想策定後は、構想区域ごとに地域医療構想調整会議を設け、関係者間の連携を図りながら、構想の達成を推進するために必要な協議を行い構想の実現に向けた取組みを進める。

1 本県における地域医療構想

① 病床の必要量（単位：床）

■高度急性期 ■急性期 ■回復期 ■慢性期



※「病床機能報告」の内訳については、「体積等」があるため合計と一致しない。

② 在宅医療等需要（単位：人／日）

■訪問診療分 □訪問診療以外



※2025年については、在宅医療等の受入体制の状況により内訳が変化するため全体数のみを明示

現状と課題

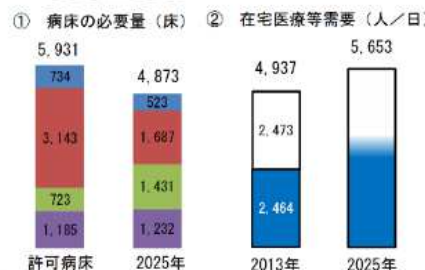
- 急性期病床が過剰、回復期病床が不足している。
- 非稼働病床や稼働率が低い病床、在宅療養が可能な患者の入院が見られる。
- 後期高齢者人口の増加に伴う在宅医療等需要の増加に対し受入体制が不十分である。
- 訪問看護や看取りなど在宅医療に対する県民の理解が不足している。
- 県内の医師、歯科医師、薬剤師、看護職員等が不足している。

課題解決のための施策

- ① 病床機能の分化・連携**
 - ・急性期病床から回復期病床等への機能転換
 - ・専門性や難易度が高い治療の集約化と広域連携による病床規模の適正化
 - ・「地域医療連携推進法人」の活用も含めた病院等の病床機能間の連携
- ② 在宅医療の拡充**
 - ・自宅以外でも医療・介護が受けられる多様な居住環境の整備や居宅サービスの充実
 - ・医療・介護従事者、住民などへの在宅医療に関する理解の促進
- ③ 人材の確保・育成**
 - ・山形方式・医師及び看護師等生涯サポートプログラムに基づく人材確保・育成
 - ・山と連携した新たな専門医制度への対応

2 構想区域における地域医療構想（第6次山形県保健医療計画における二次保健医療圏）

村山構想区域



【主な課題と施策】

- 三次医療機関を中心に、特に高度な医療等については、区域内及び最上・置賜構想区域との連携体制を構築する。
- 西村山・北村山地域においては、施設の老朽化により建替時期の迫っている病院があり、それぞれの地域における基幹病院では、診療機能を地域に必要なものに重点化を図ったうえで、病床規模の適正化を進めるとともに、非稼働病床や病床利用率の低い病床を有する病院においては、回復期機能への転換と病床規模の適正化を進める。
- 在宅医療等需要が大幅に増加することから、在宅医療に取り組む医療・介護事業所数を拡大する。

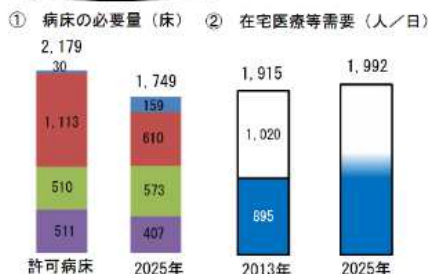
最上構想区域



【主な課題と施策】

- 県立新庄病院の改築整備に際して、区域内の病院・診療所との連携及び機能分担や二次医療圏を超えた広域的な連携体制の構築について、病床規模を含め検討する。
- 非稼働病床や病床利用率の低い病床を有する急性期機能を担う病院においては、地域に必要な診療機能に重点化を図るとともに、病床規模の適正化を推進する。
- 訪問看護の対象エリアが広いこと、病院及び訪問看護事業所間の連携やサテライトの設置などを検討し、訪問看護体制を強化する。

置賜構想区域



【主な課題と施策】

- 米沢市、東置賜・西置賜地域それぞれに建替時期の迫っている病院が多く、それぞれの地域において、基幹病院等を中心に急性期機能の病床を集約し、基幹病院以外の二次医療機関を中心に回復期機能の病床を確保していく。
- 非稼働病床や病床利用率の低い病床を有する急性期機能を担う病院においては、地域に必要な診療機能に重点化を図るとともに、病床規模の適正化を推進する。
- 訪問看護事業所の多くが小規模であることから、夜間・小児・精神疾患などへのサービス拡充に向け、病院及び訪問看護事業所間の連携強化を図る。

庄内構想区域



【主な課題と施策】

- 北庄内・南庄内地域のそれぞれの基幹病院等を中心に急性期機能を集約化し、一部の特に高度な医療を除き区域内で完結できるよう役割分担や連携体制を構築する。
- 非稼働病床や病床利用率の低い病床を有する急性期機能を担う病院においては、地域に必要な診療機能に重点化を図るとともに、病床規模の適正化を推進する。
- 在宅医療等需要が増加することから、地域医療情報ネットワークの参加施設の拡大を図り連携を強化するとともに、在宅医療に取り組む医療・介護事業所数を拡大する。

PDCAサイクル等による地域医療構想の推進について

～地域医療構想の進め方について（令和5年3月31日付け医政地発0331第1号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）のポイント～

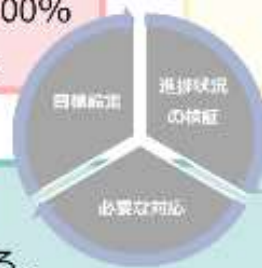
「第8次医療計画等に関する意見のとりまとめ」（令和4年12月28日）等を踏まえ、都道府県において、毎年度、対応方針の策定率等を目標としたPDCAサイクルを通じて地域医療構想を推進することとする。

（1）年度目標の設定

- ✓ 毎年度、構想区域ごとに立てる地域医療構想の推進に係る目標については、以下のとおり設定する。
 - ・ 対応方針の策定率が100%未満の場合には、対応方針の策定率
※2022年度・2023年度において対応方針の策定や検証・見直しを行うこととされていることに留意。
 - ・ 既に100%に達している場合等には、合意した対応方針の実施率
- ✓ 対応方針の策定の前提として、病床機能報告の報告率が100%でない場合には、未報告医療機関に対し、報告を求める。

（2）地域医療構想の進捗状況の検証

- ✓ 病床機能報告上の病床数と将来の病床の必要量について、データの特性だけでは説明できない差異（※）が生じている構想区域において、地域医療構想調整会議で要因の分析・評価を実施。
※病床機能報告が病棟単位であることに起因する差異や、地域の実情に応じた定量的基準の導入により説明できる差異を除いたもの。
- ✓ 人員・施設整備等の事情で、2025年までに医療機能の再編の取組が完了しない場合には、完了できない事情やその後の見通しについて具体的な説明を求める。



（3）検証を踏まえて行う必要な対応

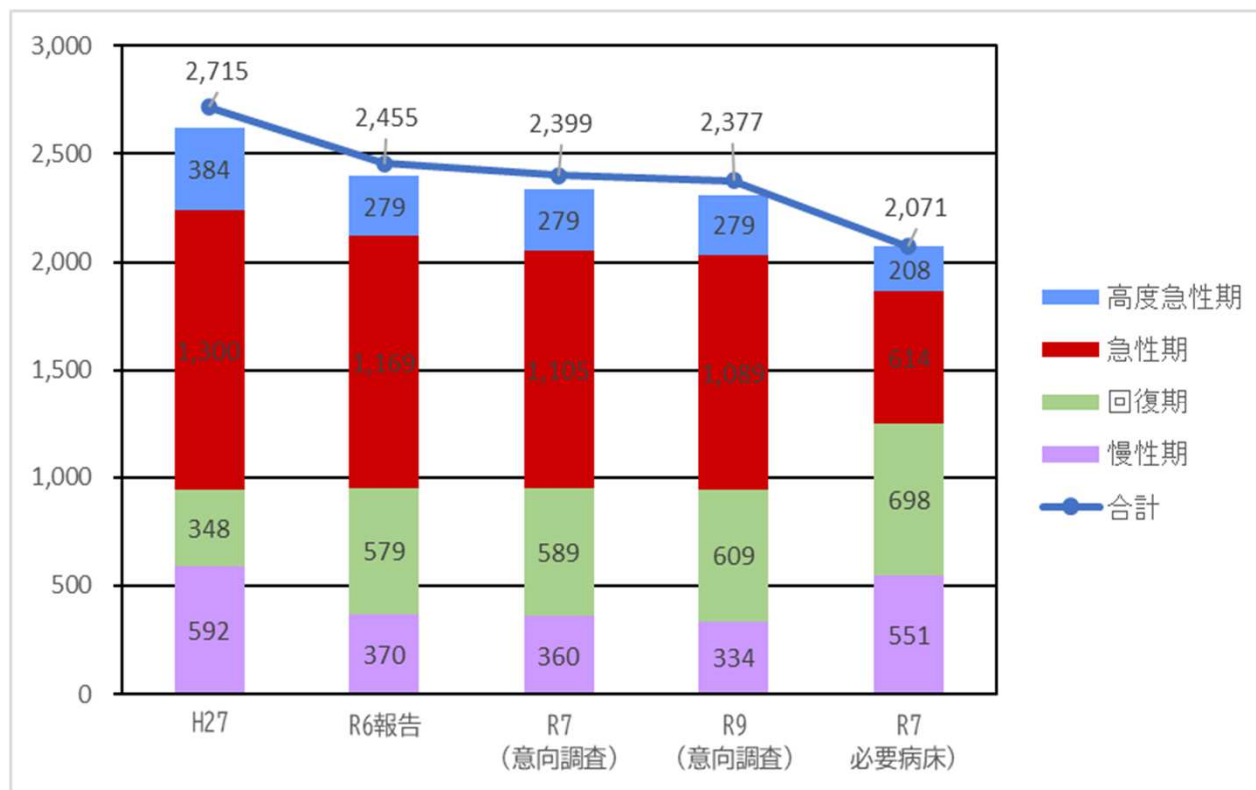
- ✓ 非稼働病棟等へについて、以下の通り対応する。
 - ・ 病床機能報告から把握した非稼働病棟については、非稼働の理由及び当該病棟の今後の運用見通しに関する計画について、地域医療構想調整会議での説明を求める。その際、当該病棟の再稼働の見込みについては、医療従事者の確保の具体的な見込み等も含めて詳細な説明を求め、十分議論する。また、病床過剰地域においては、医療法に基づく非稼働病床の削減命令・要請等を行う。
 - ・ 病棟単位では非稼働となっていないが、非稼働となっている病床数や病床稼働率の著しく低い病棟についても把握し、その影響に留意する。
- ✓ 非稼働病棟等への対応のみでは不十分である場合には、構想区域全体の2025年の医療提供体制について改めて協議を実施し、構想区域の課題を解決するための年度ごとの工程表（KPIを含む。）を策定・公表。
- ✓ その他、地域医療構想調整会議の意見を踏まえ、必要な対応を行うこと。

医療機関ごとの具体的対応方針の変更状況

医療機関ごとの具体的対応方針について（一般病床・療養病床）
（「地域医療構想の推進に関する意向調査」令和4年度、令和6年度及び令和7年度調査結果より）

病診 区分	公立病院 経営強化 プラン策定 対象	医療機関名	現状																							具体的対応方針																実施状況												
			令和7年7月1日時点の 機能別の病床数						令和7年(2025年)の機能別の病床数						令和9年(2027年)の機能別の病床数						将来(令和9年)において自院が担うべき役割										将来(令和9年に)自院が持つべき診療機能										現状と R7年度 の病床 機能別 病床数が一致	現状と R9年度 の病床 機能別 病床数が一致												
			高度 急性 性期	急性 期	回復 期	慢性 期	休棟 中	合計	高度 急性 性期	急性 期	回復 期	慢性 期	休棟	合計	総 病床 床数 (合計から 廃止・介護 医療院への 移行を除く)	高度 急性 性期	急性 期	回復 期	慢性 期	休棟	合計	総 病床 床数 (合計から 廃止・介護 医療院への 移行を除く)	① 重症救急、 高度・専門 手術等	② 軽症等救急、 在宅後方支 援等	③ 急性期経過 後のリハビ リ等	④ 長期療養 (重度障害) 等	⑤ 特定の診 療に特化 等	⑥ かかりつ け医、在宅 医療等	補 足 事 項	がん (治療)	がん (療養支 援)	脳卒 中(急性 期)	脳卒 中(回復 期、維持 期)	心 血 管 疾 患 (急性 期)	心 血 管 疾 患 (回復 期、予 防)	糖 尿 病	精 神 疾 患	小 児 医 療	周 産 期 医 療	救 急 医 療	災 害 時 に お け る 医 療	へ き 地 区 医 療	感 染 症 (新興感 染症対 応)	在宅 医 療	その他	具 体 的 な 内 容								
病院		産婦人科・小児科三井病院	0	41	0	0	0	41	0	41	0	0	0	41	41	0	25	0	0	0	0	25	25					◎																				○	未					
病院		鶴岡協立リハビリテーション病院	0	0	104	52	0	156	0	0	104	52	0	0	156	156	0	0	104	52	0	0	156	156			◎	○					現在の役割と大きく変わらない見込み				◎													○	○			
病院	○	鶴岡市立荘内病院	108	353	10	0	50	521	108	353	10	0	50	0	521	521	108	353	10	0	50	0	521	521	◎																								○	○				
病院		鶴岡協立病院	0	0	114	46	0	160	0	0	114	46	0	0	160	160	0	0	114	46	0	0	160	160		◎	○				○																			○	○			
病院	○	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院	0	0	120	0	0	120	0	0	120	0	0	0	120	120	0	0	120	0	0	0	0	120	120		○	◎						②については、在宅患者の後方支援機能に限る				◎												○			○	○
病院	○	日本海酒田リハビリテーション病院	0	0	79	35	0	114	0	0	79	35	0	0	114	114	0	0	79	35	0	0	114	114			◎	○																						○	○			
病院		医療法人 本間病院	0	54	54	50	0	158	0	33	75	50	0	0	158	158	0	33	95	30	0	0	158	158		◎	○	○				○																		未	未			
病院	○	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院	171	415	0	0	0	586	171	415	0	0	0	0	586	586	171	415	0	0	0	0	586	586	◎	○																							○	○				
病院		医療法人社団愛陽会 三川病院	0	0	0	50	0	50	0	0	0	50	0	0	50	50	0	0	0	50	0	0	50	50			○	○	◎																						○	○		
病院		医療法人徳洲会 庄内余目病院	0	160	85	37	42	324	0	202	85	37	0	0	324	324	0	202	85	37	0	0	324	324	○	◎	◎	◎																					未	未				
病院		順仁堂遊佐病院	0	0	0	74	0	74	0	0	0	74	0	0	74	74	0	0	0	74	0	0	74	74			○	○																						○	○			
診療所		みやはらクリニック	0	15	0	0	0	15	0	15	0	0	0	0	15	15	0	15	0	0	0	0	15	15					○																					○	○			
診療所		真島医院	0	11	0	6	0	17	0	11	0	6	0	0	17	17	0	11	0	6	0	0	17	17		◎		○																						○	○			
診療所		藤吉内科医院	0	19	0	0	0	19	0	19	0	0	0	0	19	19	0	19	0	0	0	0	19	19		◎				○																					○	○		
診療所		福原医院	0	4	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	4	4	0	4	0	0	0	0	4	4				◎																						○	○			
診療所		丸岡医院	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	4	0	4	4	0	0	0	0	4	0	4	4					○																					○	○			
診療所		医療法人社団 池田内科医院	0	0	2	4	0	6	0	0	2	4	0	0	6	6	0	0	2	4	0	0	6	6					○																					○	○			
診療所		いちごレディースクリニック	0	12	0	0	0	12	0	12	0	0	0	0	12	12	0	12	0	0	0	0	12	12				○																						○	○			
診療所		上田診療所	0	0	0	6	0	6	0	0	0	6	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0					◎																				○	未				
診療所		村上医院	0	0	0	0	12	12	0	0	0	0	12	0	12	12	0	0	0	0	12	0	12	12						○																	</							

庄内構想区域の地域医療構想の進捗状況の検証・評価



(検証・評価)

- 2023 (令和5) 年度の目標とした 「医療機関の対応方針の策定率100%」 は 2023 (令和5) 年度中に達成された。
- 病床数の総数は2025年の必要数との差異が小さくなっているものの、機能別病床数は依然として差異がある。
- 従って、非稼働病床や稼働率が低い病床を中心に、将来の医療需要を見据え、引き続き医療機能の分化・連携を進めていく必要がある。
- 上記の検証結果を踏まえ、圏域の課題を解決するための年度毎の目標について、令和7年度は「令和8年度までに各医療機関の対応方針の実施率を100%とする」こととする。

※令和7年11月時点の実施率は90.0%

※現行の地域医療構想は令和8年度も継続

庄内構想区域	H27年		R6病床機能報告			2025年			2027年	
	H27実績	2025年必要数に対する比	R6実績	H27に対する比	H27との差	2025見込数 (意向調査)	2025必要数	見込み/必要数	2027見込数 (意向調査)	2027/2025必要数
合計	2,715	131.1%	2,455	90.4%	▲ 260	2,399	2,071	115.8%	2,377	114.8%
高度急性期	384	184.6%	279	72.7%	▲ 105	279	208	134.1%	279	134.1%
急性期	1,300	211.7%	1,169	89.9%	▲ 131	1,105	614	180.0%	1,089	177.4%
回復期	348	49.9%	579	166.4%	▲ 231	589	698	84.4%	609	87.2%
慢性期	592	107.4%	370	62.5%	▲ 222	360	551	65.3%	334	60.6%
休棟	91	-	58	63.7%	▲ 33	66	0	-	66	-

具体的方針の実施状況 (医療機関単位)	総数 (件)	無床化 (件)	対象数 (件)	未実施 (件)	実施済 (件)	実施率 (%)
現状とR7年度の病床機能別病床数が一致	20	0	20	2	18	90.0%
現状とR9年度の病床機能別病床数が一致	20	1	20	4	16	80.0%